

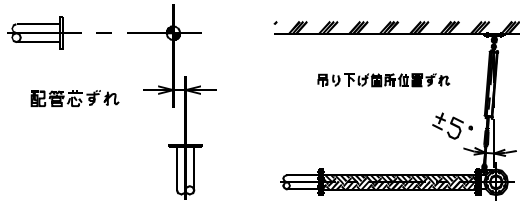
免震サプレックス施工要領書（天吊H・滑車Pシステム）

「設置場所と納入品に相違無いことをご確認下さい」
 「配管高さをご確認下さい」
 「取付、支持方式を図面でご確認下さい」

注意点

1. 建物側、地盤側の固定架台を取り付けて下さい。
2. 配管を固定架台に取り付けし、取付面間、芯間寸法が設計寸法どおりか確認下さい。

| | 許容芯ずれ | 吊り下げ箇所位置ずれ |
|-------------|--------------|------------|
| 天吊H・滑車Pシステム | ゴムフレキ ±50mm | ±5° |
| | SUSフレキ ±25mm | |



3. MFサスペンション（滑車）の取付位置を図面にに基づき決定し、指定のアンカーを施工下さい。
4. MFサスペンション及び金具類一式をMFサスペンション組立要領書に基づいて組み付け下さい。
5. MFサスペンション（滑車）をアンカーに固定してください。
6. 継手を取り付ける高さに合わせ、仮置き台などを設置下さい。
7. 配管と継手、エルボ管を取り付けて下さい。
 （複数配管の場合はエルボ管を吊架台上にUボルトで固定下さい。）
SUSフレキの場合は必ずSUSフレキ付属のパッキンを使用下さい。
8. 下図を参考に、MFサスペンションでエルボ管（吊架台）を吊って下さい。
9. 仮置き台を取り外し、ターンバックル（ワイヤー）により指定高さに調整下さい。圧送系統の場合は、満水状態で高さを調整下さい。
 （加圧状態で調整を行うと、フレキの剛性が高くなるため、高さ調整が難しくなります。よって、満水・管内無加圧状態での高さ調整を推奨いたします。）

・固定架台は出来るだけ免震継手の直近に設置願います

・左表の誤差範囲内に収まるように配管の施工、芯出をお願いします。
 ・接続配管はSGPまたは継手の反力値に応じた強度を有する材料を使用下さい。

・指定サイズのアンカーを使用下さい。

・高さは図面を参照下さい。

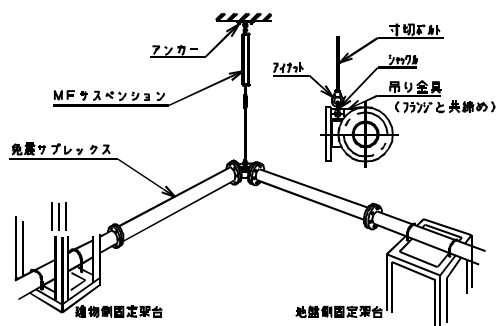
・付属品以外のパッキンを使用すると漏れの原因になることがあります。

・ボルトの頭を継手側にして均等に締め付けて下さい。

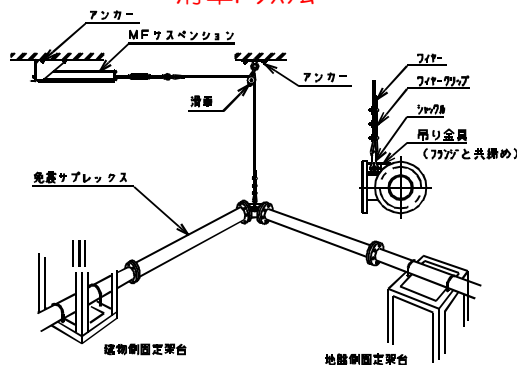
・排水管の場合は勾配を確認下さい。

施工例

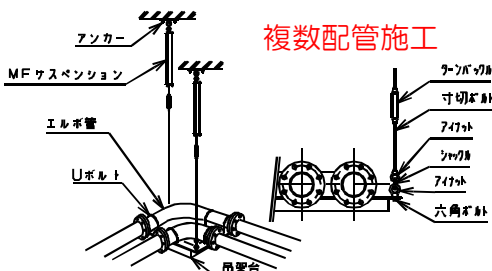
天吊Hシステム



滑車Pシステム



複数配管施工



注意事項

- ◎フレキ本体に打痕、傷入りなど起こらぬ様に注意して取り扱い下さい。
- ◎吊具関係の部品紛失にご注意下さい。

免震サプレックス MFサスペンション組立要領

MFサスペンションは配管サイズ、免震量などに合わせて最適な仕様を選定しています。輸送、施工などの都合上、数点の部品に分けて梱包しています。図面中のサスペンション品番と下図を確認して、お客様の該当仕様を確認して組立下さい。

寸切ボルト、ワイヤーは高さ調整のために、長めの部品を付属させています。現場での調整確認を行い、必要長に切断してご使用下さい。

天吊Hシステム用MFサスペンション

MF-SP25H

MF-SP150H

MF-SP300H

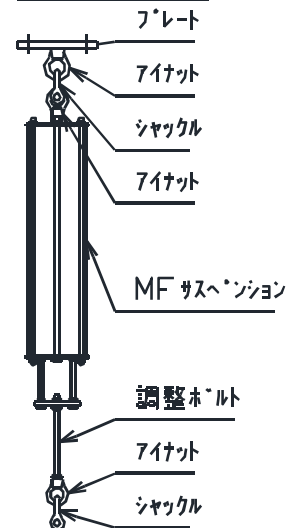
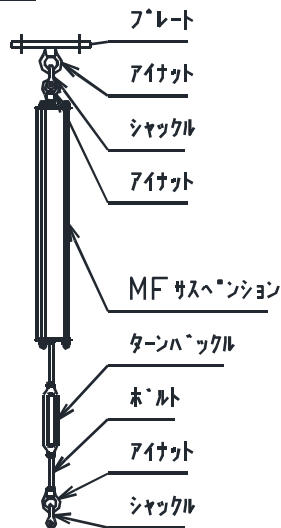
MF-SP50H

MF-SP225H

MF-SP450H

MF-SP75H

MF-SP675H



滑車Pシステム用MFサスペンション

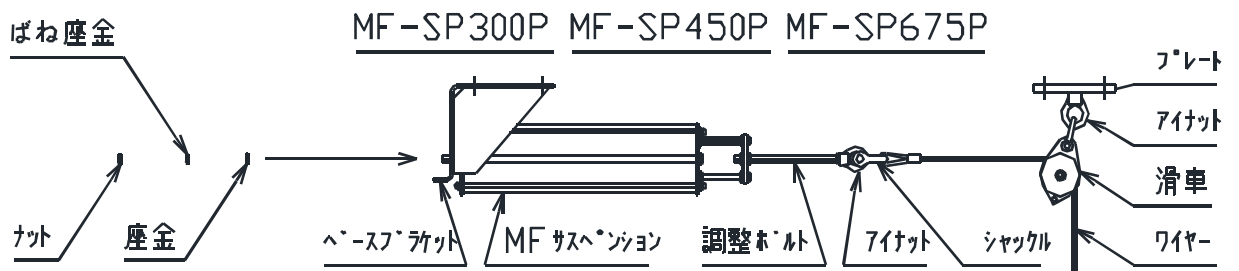
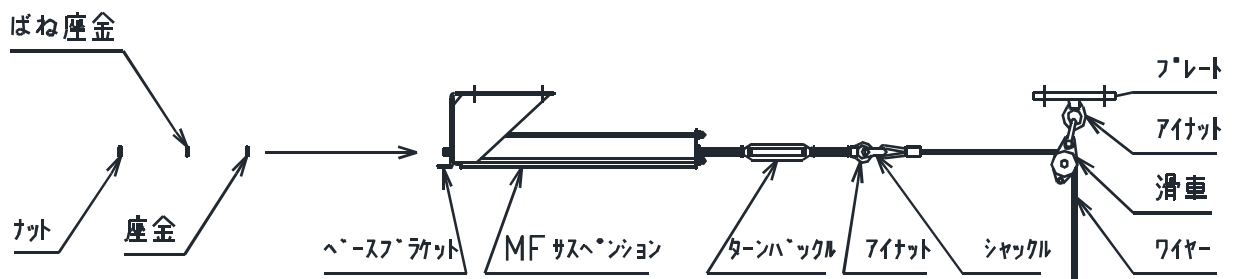
MF-SP25P

MF-SP50P

MF-SP75P

MF-SP150P

MF-SP225P



免震サプレックス MFサスペンション組立要領

MFサスペンションは配管サイズ、免震量などに合せて最適な仕様を選定しています。輸送、施工などの都合上、数点の部品に分けて梱包しています。図面中のサスペンション品番と下図を確認して、お客様の該当仕様を確認して組立下さい。

寸切ボルト、ワイヤーは高さ調整のために、長めの部品を付属させています。現場での調整確認を行い、必要長に切断してご使用下さい。

天吊Hシステム用MFサスペンション組み立て例(単独吊り)



フランジ連結ボルト

ナット

ワッシャ

スプリングワッシャ

アイナット

シャックル

ロックナット